

誰もが便利に移動できる暮らしやすいまちへ



未来へ進む LRT

芳賀・宇都宮 LRT
Haga Utsunomiya LRT

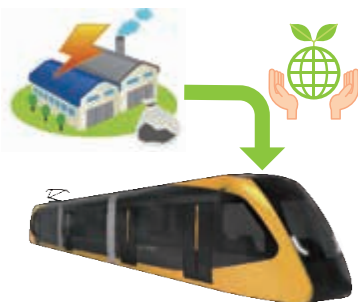


誰もが便利に移動できる公共交通ネットワークをつくっています

宇都宮市が目指すまち、それは、コンパクト化した拠点を交通ネットワークでつなぐ「**NCC(ネットワーク型コンパクトシティ)**」です。その実現に向け、LRTを軸とし、バスや地域内交通と連携した、公共交通ネットワークをつくっています。

LRT導入をきっかけとした「スーパースマートシティ」構想を推進

国内初である全線新設のLRT導入による、まちの姿や人の生活行動の大きな変化を最大のチャンスと捉え、^{マース}MaaSの導入などによる快適な移動環境の整備、再生可能エネルギーの活用促進による低炭素化など、先進技術をあらゆる分野に活用し、より良い暮らしを目指す「**スーパースマートシティ**」の実現に向けたまちづくりを進めています。



環境にやさしいまちへ

LRTは、市内ごみ処理施設の廃熱を利用する**再生可能エネルギーを100%使用**して走行します。



詳しくはWebで！
54ページでも紹介！



便利に移動できるまちへ

3月21日には、**地域連携ICカード「totra」**がスタート。また、市内の公共交通の運賃に上限額を設ける「**上限運賃制度**」も検討中。

まちづくりの効果が現れ始めています

宇都宮市がこれからも人や企業に選ばれる豊かな都市であるように。まちづくりの効果はすでに現れ始めています。

市全域の30%超！ LRT沿線で高層ビルが増加

LRT沿線における高層建築物(6F以上)の建築確認申請件数は、平成27年度以降16件。その割合は市全域の30%を超えています。

※令和元年12月時点



30年ぶりの新設小学校が来月開校！ LRT沿線の人口が増加

ゆいの杜地区では、この5年で人口が1.5倍に増加。今年4月、宇都宮市として約30年ぶりに新設する「ゆいの杜小学校」が開校します。

※令和元年12月時点



ゆいの杜小学校

上昇率は北関東1位！ 駅東側の路線価が県内首位

県内で初めて最高路線価地点が交代し、JR宇都宮駅東口前が、西側中心市街地に代わり首位に。上昇率13.7%は北関東3県最大です。

※令和2年分



JR宇都宮駅東口地区(整備イメージ)

隈研吾建築都市設計事務所作成

開業時期と概算事業費が変更となりました

概算事業費(税抜) **約412億円**→**約603億円**

軟弱地盤層への対応や安全性・利便性の向上のため、本市の概算事業費は**約191億円**の増加となり、**約603億円**となる見込みです。

開業時期 2022年(令和4年) **3月**→2023年(令和5年) **3月**

新型コロナウイルス感染症の影響などにより、事業用地の取得に時間を要しており、開業は、1年程度遅れる見通しです。今後は、**令和5年3月**の開業を目指し、整備に取り組んでいきます。

Q どうして増額になったの？

安全に、安心して、便利に、LRTを利用していただけるよう対策を講じています。

地質調査の結果、一部の場所で、想定以上に厚い軟弱地盤層に対応するために、構造物を支える杭基礎を延長したほか、近年多発するゲリラ豪雨からLRT車両を守るため、車両基地の盛土を追加するなど、現地の状況に合わせ、安全対策を講じました。

また、車両の全てのドアから乗り降りができる運賃收受システムやICカードシステムを取り入れるなど、**安全・安心・便利に、LRTを使っていただけるよう対策を講じました。**

概算事業費変更の内訳

増減理由	額(円)
現地の施工条件等への対応 軟弱地盤への対応、補償物件数の増加への対応 等	+102億円
建設需要の増加などの社会情勢の変化 ゲリラ豪雨など災害対策の強化 等	+35億円
安全性・利便性の向上など 地域連携ICカードシステムの導入 等	+46億円
地下埋設物等移設 工事に支障となる電力ケーブルなどの移設	+35億円
軌道(レール)等の仕様見直し 経済性に優れたレールへの変更 等	-27億円



さらに詳しい情報は市HPから



1 さまざまな工事を大規模・広範囲で行っています。写真はLRTの走る鬼怒川橋りょう 2 バリアフリー化に配慮した停留場整備 3 東日本大震災でも影響の大きかった清原地区。軟弱地盤であることは想定していましたが、現地調査の結果、追加の対策が必要になりました 4 使いやすい運賃收受システム。

軟弱地盤は事前に分らなかったの？

一般的に公共工事では、建設予定地に建物などがあり現地で調査を行うことができない場合、予定地の近くで地質を調査し、建設地の地質を想定し、地盤改良等の費用を算出します。そして、土地の取得後に、改めて建設地の真下で調査を行います。

今回は、真下での調査の結果、さらに軟弱地盤層が厚いことなどが判明したため、安全に安心してLRTを利用いただけるよう、対策を講じたものです。



Q 市の財政は大丈夫なの？

コロナ対策、子育て、福祉など、今、必要なものにも十分に対応しています。

令和2年度予算

福祉
(子育て・高齢者等)
約830億円

コロナウイルス感染症対策
約710億円

※令和3年2月1日現在

「今を生きる市民」と「未来を生きる市民」が豊かで幸せに生活できる持続可能なまちづくりを進めています